

研究



米國道路建設聯邦補助ニ關スル法令(三)

檜 垣 正 男

○(第七一議會公第九〇號)(増補修正一九一六年七月十

一日可決州地方郵便道建設合衆國補助令)ノ修正令)

ベキ至一九三一年六月三十日會計年度分五千萬弗ノ追加
支出ヲ許可ス

第一條 一九一六年七月十一日可決「州地方郵便道建設合

第三條 増補修正一九一六年七月十一日該令第六條ハ更ニ

衆國補助令」及ビ其増補修正令實行ノ爲該令ニ從ヒ費消

改正サレ、農林大臣ノ爲ス支拂ノ制限ハ之ヲ一徑間二十

シ得ベキ國庫金至一九三二年六月三十日會計年度分一億

呎以上ノ橋梁費ヲ除外シ、一哩當リ二萬五千弗ニ増加ス

二千五百萬弗至一九三三年六月三十日會計年度分一億二

但シ該州體系七パーセント元證明道路ノ路面ガ完成スル

千五百萬弗ノ追加支出ヲ許可ス。

迄ハ支拂金ハ一哩當リ一萬五千弗ニ制限サル。尙一哩當

第二條 一九二八年五月二十六日法令第一條國庫支出金ニ

リ一萬五千弗ヲ越ユル部分ハ道路局長官及ビ農林大臣之

附加シテ聯邦公道令及ビ其増補修正令條項ニ從ヒ費消ス

ヲ公道體系若ハ其建設經濟ノ實施の擴張トシテ證明スベ

シ。尙本支金ノ制限ハ公有地ニモ適用ス但シ該制限ハ修正一九二一年十一月九日可決「増補修正一九一六年七月

十一日可決州地方郵便道建設合衆國補助令」第十一條ニ

ヨル聯邦補助令ノ増加歩合ニ應ジ増加サル場合ハ此ノ限りニ非ズ。農林大臣ノ爲ス一哩當リ支拂制限ニ關スル本

條項ハ之ヲ今後ノ支出金ニシテ本修正令可決ノ日以後州

ノ支拂ニ充ツベキ凡ユル資金ニ適用シ又増補修正一九一

六年七月十一日當該令條項實施ノ爲今後支出サル凡ユル

金額ニ適用ス。

第四條 本令條項ト矛盾スル法令及ビ法令ノ一部ハ總テ之

ヲ廢止ス本令ハ公布ト同時ニ之ヲ實施ス。

一九三〇年四月四日可決

〇(第七一議會公第一七九號)(増補修正一九一六年可決

「州地方郵便道建設合衆國補助令」修正令)

第一條 一九二一年十一月九日可決聯邦公道令第二十三條

實施ノ爲該條ニ從ヒテ費消スベキ國庫支出金至一九三二

年六月三十日會計年度分千二百五十萬弗、至一九三三年

六月三十日會計年度分千二百五十萬弗ノ追加支出ヲ許可

ス。

第二條 一九二八年五月二十六日該令第二條支出金ニ附加

シテ、該條ニ從ヒ費消シ得ベキ國庫金至一九三一年六月

三十日會計年度分五百萬弗ヲ支出ス。

第三條 至一九三一年六月三十日、一九三二年六月三十日

一九三三年六月三十日各會計年度分支出金七百五十萬弗

ヲ超過セル金額ヲ聯邦公道令第二十三條實施ノ爲使用セ

ントスル場合ハ、農林大臣ハ現在若ハ今後指定サルベキ

聯邦補助公道體系ニ屬シ、且ツ他ノ方法ニヨル費用調達

ノ充分ナラズト考フル計畫ニ優先權ヲ附與スベシ。但シ

斯カル聯邦公道體系ニ選バレタル計畫ハ建設ノ性質幅員

共聯邦政府ガ同様ナル條件ノ各州ニ要求スルモノト同様

ナル標準ニヨリ建設サレザルベカラズ、農林大臣ハ少ク

モ毎年一回本令資金費消ノ進行狀態ヲ示ス地圖及ビ其他

ノ情報ヲ準備發行配布スベシ。

第四條 本令條項ト矛盾スル法令及ビ法令ノ一部ハ之ヲ廢

止ス而シテ本令ハ公布ト同時ニ之ヲ實施ス。

一九三〇年五月五日可決

○(第七一議會公第二二八號)(合衆國ノ北西部ト英領コロンビヤユーコン準州アラスカヲ聯繫スル公道建設ニ關シ加奈陀政府ト共同調査ノ法令)

第一條 合衆國大統領ハ三名ノ特別委員ヲ任命シ、加奈陀政府ノ代表者ト協力シテ、合衆國北西部ト英領コロンビヤユーコン準州アラスカヲ聯繫スル公道建設ヲ調査シ、該公道ガ實行シ得ベキモノナリヤ、又經濟的ニ實行性アリヤヲ確定シムベシ。該調査完成セル場合結果ハ之ヲ議會ニ報告スベシ。

第二條 本令實施ノ爲國庫金一萬弗ノ支出ヲ許可ス。

一九三〇年五月十五日可決

○(第七一議會公第二六七號)(一九二九年ノ洪水ニヨル道路橋梁ノ損壞破壞ニ對シ、ジオージア州ヲ救濟スル法令)

一九二九年ノ洪水ニ依リ道路橋梁ヲ損壞破壞サレ擔稅力

以上ニ州民財産ニ課稅シ異常ナル經濟的損失ヲ蒙リ非常ナル困窮緊急ノ状態ニアルジオーヂア州救濟ノ爲合衆國ノ補償若ハ義捐金トシテ國庫金五十萬六千六百六十七弗半ヲ支出ヲ許可ス。將來ノ建設ニ利用スベキ支出金ノ部分ハ農林大臣ノ承認ヲ得テ、ジオーヂア州ノアウグスタ附近ノサバナ川ニ架セル州橋モ含メ破壞損壞サレタル道路橋梁ノ回復再配置ノ爲農林大臣ノ發スル規則ニ從ヒ最モ永久的救濟トナル如キ方法ニテ州道路局之ヲ費消スベシ、該州ニ支出サレタル金額ヲ利用セントスル時ハ、本令公布前後ヲ問ハズ州資金ヨリ同額金額ヲ該目的ノ爲農林大臣ノ満足スル程度ニ消費若ハ準備セザルベカラズ。本令ハ該道路橋梁回復ニ關聯シ合衆國側ニ何等ノ責任ヲモ分擔セシムルモノニ非ズ、但シ農林大臣ハ本令條項實施ノ爲該支出金ノ二・五パーセント以下ノ金額ヲ使用シテワシントン市其他ニ於テ本令目的遂行ノ爲必要ト考フル補助者屬官其他ノ人員ヲ雇傭シ、資材物件設備調度ヲ買ヒ旅費其他ノ入費ニ充テシムルコトヲ得。尙本令支出金ハ之ヲジオーヂア州ノ聯邦公道體系中ノ

道路橋梁、若ハ該道路橋梁ノ必要ナル回復ニノミ使用スルコトヲ得。

一九三〇年五月二十七日可決

○(第七一議會公第二九二號)(一九二九年ノ洪水ニヨル

道路橋梁ノ破壞損壞ニ對シ南カロリナ州ヲ救濟スル法

令)

一九二九年ノ洪水ニヨリ道路橋梁ヲ損壞破壞サレ、擔稅力以上ニ州民財產ニ課稅シ異常ナル經濟的損失ヲ蒙リ、非常ナル困窮緊急ノ状態ニアル南カロリナ州救濟ノ爲、合衆國ノ補償若ハ義捐金トシテ國庫金八十萬五千五百六十一弗ノ支出ヲ許可ス。將來ノ建設ニ利用スベキ支出金ノ部分ハ農林大臣ノ承認ヲ得テ破壞損壞サレタル道路橋梁ノ回復再配置ノ爲農林大臣ノ發スル規則ニ從ヒ最モ永久的救濟トナル如キ方法ニテ州道路局之ヲ消費スベシ。但シ該州ニ支出サレタル金額ヲ利用セントスル時ハ、該州ハ本令公布前後ヲ問ハズ州資金ヨリ同額金額ヲ當該目的ノ爲農林大臣ノ満足スル如ク、消費若ハ準備セザルベカラズ。本令ハ該橋梁

道路回復ニ關聯シ合衆國側ニ何等ノ責任ヲモ分擔セシムルモノニ非ズ但シ農林大臣ハ本令條項實施ノ爲當該支出金ノ二・五パーセント以下ノ金額ヲ使用シテワシントン市其他ニ於テ本令目的遂行ノ爲必要ト考フル補助者、屬官其他ノ人員ヲ雇傭シ、資材、物件、設備、調度ヲ買ヒ、旅費其他ノ入費ニ充テシムルコトヲ得、尙本令支出金ハ之ヲ南カロリナ州ノ聯邦公道體系中ノ道路、橋梁、若ハ該道路橋梁ノ必要ナル回復ニノミ使用スルコトヲ得。

一九三〇年六月二日可決

○(第七一議會公第三三二號)(一九二八年五月十六日可

決「至一九二九年六月三十日會計年度農林省支出金令」

ノ修正令)

一九二八年五月十六日可決至一九二九年六月三十日會計年度分農林省支出金令(法令全書第四十五卷五七〇頁)中ノ「ヴェルモント、ニュウハンプシャー、ケンタツキーノ洪水救濟」ナル項ノ次ニ左文ヲ挿入ス。

「尙又農林大臣ハケンタツキー州ト協力シテケンタツキー

ノハザード市ノ市民橋梁會社ニヨリ架設サレ現在經營ナシツ、アル、同市主要道ヨリケンタツキー河ノースフォークヲ越エテルイズウイル及ビナツシユビル鐵道地帯及ビ停車場ニ至ル橋梁ヲ取得スベシ。該州救済支出資金中ヨリ農林大臣ハ該橋獲得費用ノ二分ノ一ヲ支拂フコトヲ得、但シ其費用ハ三萬一千弗以上ナルベカラズ、又他ノ半分ハケンタツキー州之ヲ支拂フベシ。該橋獲得後ハ通行料ハ之ヲ賦課スルヲ得ズ。

一九三〇年六月九日可決

○(第七一議會公第四二六號)(増補修正、一九一六年七月十一日可決「州地方郵便道合衆國補助令」修正令)

第一條 増補修正、一九二一年十一月九日可決、聯邦公道令法令全書(第四二卷二二二頁)ハ第三條第二項ヲ次文ノ如ク改ム。

「農林大臣ハ州道路局及ビ內務省ト協力シ、未充當若ハ非指定公有地、課税不能インデアン土地、森林指定地以外ノ聯邦指定地ノ調査建設再建、維持ヲ爲スコトヲ得、

本條ニヨリ議會ガ支出ヲ許可セル金額ハ州面積ノ五パーセント以上ガ上述土地ナル如キ州ニ之ヲ分配スベク、又州ノ上述土地面積對本條有資格州全部ノ上述土地面積ノ比ニ應ジテ分配スベシ。本支出金消費ニ際シテハ州側ノ支出金ハ要求サレズ、但シ本條若ハ今後之ニ續キ出ヅル法令ニヨリ該資金ヲ分配スル際、優先權ハ現在指定サレ若ハ今後指定サルベキ聯邦補助公道體系ニ屬スル計畫ニ之ヲ與フベシ。

農林大臣ハ少クモ毎年一回本條ニヨル資金費消ノ經過ヲ示ス地圖其他ノ情報ヲ準備公布配賦スベシ。

第二條 本令條項ト矛盾スル法令若ハ法令ノ一部ハ之ヲ廢止ス、而シテ本令ハ公布ト同時ニ之ヲ實施ス。

一九三〇年六月二十四日可決

○(第七一議會公決議第三四號)(ワシントンノポトマリ河ニ架セルアーリントン記念橋トバノジニヤ州ウエルノン川ヲ聯繫スル記念道ノ調査、建設、維持ヲ許シ命ズル法令中第三條第四條修正合同決議)

第一條 一九二八年五月二十三日可決「ワシントンノポトマク河ニ架セルアーリントン記念橋トバージニヤ州ヴェルノン山ヲ連繫スル記念道ノ調査、建設、維持ヲ許シ命ズル法令」第三條（法令全書第四十五卷七二一頁及び七二二頁）ハ次文ヲ附加シ之ヲ修正ス、即チ「一八八二年八月二日法令ニ依ル陸軍省コロンビヤ地方河港計畫ニ調和スル如キ地ヲ作ル爲」

第二條 該令第四條ノ「本令條項實施ノ爲ヴァージニア州ノ土地ヲ沒收ノ手續ニヨリ獲得スル必要アル時ハ該手續ハ聯邦沒收手續ニ關聯シテ現在有効ナル該州法律ニ從フベシ」ナル部分ハ之ヲ取消シ次文ヲ挿入ス「本令條項實施ノ爲ヴァージニア州ノ土地ヲ沒收ノ手續ニヨリ獲得スル必要アル時ハ該手續ハ、バージニアノ州公道委員ニ州公道ノ爲ノ土地ヲ沒收スル權ヲ與フル一九二八年ヴァージニア州會法令第四七二章（一九二八年ヴァージニア州會法令全集一二二八頁——一二三〇頁）ニ規定スル手續ニ出來得ル限り從フベシ。上述國土領有權ノ主權行使ノ

外ニ農林大臣ハ本令ノ爲必要ト認ムル土地、通行權地帯ノ使用占用ヲ爲シ又沒收スルコトナクシテ該地上及び該地内ニ、公道建設ノ手續ヲ爲スコトヲ得、但シ該地及び通行權地帯占有後六十日以内ニ、合衆國及び該地所有者ノ間ニ其賠償ニ付キ協定整ハザル時ハ、上述沒收手續ニ依ルベシ。尙、又該令目的ノ爲要求サレタル土地若ハ土地内權利ノ所有權ガ合衆國及び他ノ個人團體ニ依リ自己ノモノト主張サレ、兩者ノ争ヒガ該公道ノ建設若ハ完成ヲ脅カス虞アル場合ハ、農林大臣ハ眞ノ所有權決定ノ適當ナル手續ノ審理サレ居ル間ニ繋争土地ヲ使用占用シ、又該地上地内ニ公道建設ノ手續ヲ取ルコトヲ得、若シ該土地ガ結局合衆國ノモノナラザリシコトガ裁決サレタル時ハ其所有者ハ合衆國ヨリ本令目的ノ爲取上ゲラレタル該土地ノ正當ナル賠償金ヲ、一八八七年三月三日ノ法令、所謂「端折者令」(Tucker Act)ノ手續ニヨリ受クルコトヲ得」

一九三〇年一月二十三日可決

○(第七二議會公決議第四一號)(地方郵便道ノ共同建設ノ爲一九三〇年會計年度追加支出金合同決議)

一九一六年七月十一日可決「州地方郵便道建設合衆國補助令」及ビ一九三〇年會計年度農林省支出金令ニ此項目ノ下ニ特記サレ、一九二八年五月二十六日可決法令ニヨリ一九三〇年會計年度分支出金ノ一部ナル金額ヲ含ミタル其全増補修正令條項實施ノ爲費消サルベキ國庫金三千四百四十萬弗ノ支出ヲ許可ス。

一九三〇年二月七日可決

○(第七二議會公第二八四號)(ポトマツク河ニ沿ヒヴェルノン山、及ビフォート、ワシントンヨリ大瀑布ニ至ルジョージワシントン記念公園道ノ獲得、建設、發展及ビ首都綜合公園、公園道、運動場體系ニ必要ナルコロンビア地方メリーランド州バージニア州ノ土地獲得ヲ規定セル法令)

第一條 一九二四年六月六日ノ法令、修正「首都公園、遊園體系ノ綜合的發展ヲ規定スル法令」條項ニ從ヒ、ワシ

ントン附近ニ首都公園、公園道體系ノ爲必要ニシテ望マシキメリーランド及ビバージニア州ノ土地獲得開發ノ爲其ノ全部若ハ必要額ノミ費消スベキ國庫金九百萬弗ノ支出ヲ許可ス。該資金ハ次ノ計畫ノ急速、經濟的ニシテ又有効ナル發展完成ノ爲ニ之ヲ支出スベシ。

(イ) アレクサンドリア市内ハ除キ、ヴェルノン山ヨリヴァージニア側ノ大瀧ノ上ノ一地點ニ至ル又コロンビア地方内ハ除キフォートワシントンヨリメリーランド側ノ大瀧ノ上ノ同様地點ニ至ルポトマク河岸及ビ其附近地ヲ含メルジョージワシントン記念公園道ノ爲七百五十萬弗ノ支出ヲ許可ス尙之ハポトマク河ノジョウジ河及ビ大瀧ノ自然風景ノ保持、歴史のポトマク運河ノ保持岩所ノ下ノチエサピク河及ビオハイオ運河ノ該部分ノ獲得ノ事項ヲ含ム、該目的ノ爲ニスルポトマク河谷ノ土地獲得ハ之ガ爲議會ガ將來ポトコク河上流トオハイオ河運結航行ノ改良發展ノ爲若ハ洪水豫防、灌溉、排水、水力電氣開發ノ爲命ズルコトアルベキ工事ノ爲

ノ使用ヲ妨ゲ制限シ廢止スベカラズ、斯ク獲得セル土地ノ所有權ハ合衆國之ヲ有ス、而シテ一九二八年五月二十三日法令ニヨルヴェルノン山記念公道ガ完成セル場合はヲモ含メ、該土地ハ之ヲ首都公建築物、公園管理者之ヲ維持、管理ス而シテ該管理者ハ本令條項ニヨリ獲得セル土地ニ關シ、一九二五年二月二十六日可決ノ法令ニヨリコロンビヤ地方内ニ於テ授ケラレタル凡ユル權利權能義務ヲ遂行スベシ。又該管理者ハ茲ニ許可セル國庫支出金ノ限度以内ニテ該土地ノ正シキ管理維持ノ爲必要ナル費用ヲ費消スルコトヲ得。首都公園計畫委員會ハ該公園道ノ發展保護ノ爲必要ナル合衆國所屬地ヲ占用シ該公園道ニ入ルヲ望マシト考フル土地ノ合衆國ヘノ贈與ヲ受クルコトヲ得。メリーランド若ハヴァージニアニ於ケルボトマク河岸ノ公園道範圍内ノ土地ニシテ其獲得ニ非常ナル費用ヲ要シ、該委員會ニヨリ本計畫遂行ノ爲缺クベカラザルモノニ非ズト認めラル土地ハ、必ズシモ之ヲ獲得スルヲ要セズ、該公

園道ハフオトワシントンヨリボトマク河ノメリーランド側ノ大瀧ニ至ル公道及ビ大瀧附近ニテボトマク河ニ架セル通行無料橋及ビ、該橋ヘノ必要ナル入口道ヲ含ム。尙首都公園計畫委員會ガ充分完全ト認ムル計畫單位ニ必要ト考フル、合衆國所有ノ若ハ合衆國ニ贈與セル土地以外ノ土地獲得ノ費用ノ半分ニ對シメリーランド、若ハヴァージニア州、若ハ其政治區若ハ其他ノ責任アル出所ヨリ、一定ノ委託ヲ受ケタル後ニ非ザレバ合衆國ハ該計畫ノ如何ナル單位ニ對スル土地ニ對シテモ金錢ヲ支拂フヲ得ズ尙聯邦補助公道經過ノ一部トシテ以外ニボトマク河ノメリーランド側公道建設ニ合衆國ハ金錢ヲ費消スルヲ得ズ、尙メリーランド若ハヴァージニア州、若ハ其行政區ノ合衆國ヘノ辨償ヲ規定スル正當ナル協定ニ基キ首都公園計畫委員會ハ自由裁量ニテ本項計畫單位ノ道路建設、土地獲得ニ必要ナル充分ナル資金ヲ立替フコトヲ得。但シ該協定ハ費用ノ二分ノ一ヲ無利子ニテ費消期日以後八年以内ニ合衆國ニ

支辨スル旨ヲ規定セルモノナラザルベカラズ。合衆國ヨリノ分擔支出金ニ加ヘ、斯ル立替ノ金額ニ必要ナル支出金ハ國庫金ヨリ之ヲ支出スルコトヲ得。

(ロ) 首都公園計畫委員會トメリーランド首都公園計畫委員會トノ協定ニヨルロツクグリーク公園ノメリーランドヘノ擴張ノ爲、ロツクグリークノ水流保存ノ爲及ビ首都公園計畫委員トメリーランド首都公園計畫委員トノ協定ニヨルアナコスチャ公園ノアナコスチャ河谷上流、インデアングリークノイスウエスト河支流、スリゴグリークヘノ擴張及ビ、ジョオデワシントン記念公園道ノキヤピンデヨングリーク河谷ヘノ擴張ノ爲一五〇萬弗ノ支出ヲ許可ス。但シ本項支出金ハ首都公園計畫委員會トワシントン郊外衛生委員會間ニ、汚水處置及ビ暴風雨流水ノ爲ノ契約締結サル迄ハ之ヲ費消スベカラズ。尙首都公園計畫委員會ガ充分完全ト認ムル擴張單位ニ必要ト考フル合衆國所有ノ若ハ合衆國ニ贈與セル土地以外ノ土地獲得費用ノ殘額ニ對シ、メリ

ーランド首都公園計畫委員會ヨリ一定ノ委託ヲ受ケタル後ニ非ザレバ、該擴張ノ如何ナル單位ニ對シテモ金銭ヲ支出スルヲ得ズ尙メリーランド首都公園委員會ノ合衆國ヘノ辨償ヲ規定スル正當ナル協定ニ基キ首都公園計畫委員會ハ自由裁量ニテ該擴張ノ爲必要ナル土地獲得ニ必要ニシテ充分ナル資金ヲ立替フルコトヲ得。

但該立替金ハ、合衆國ノ上記百五十萬弗ノ支出金以外ニ三百萬弗ヲ超過セザル金額ハ之ヲ國庫金ヨリ支出スルコトヲ得。又該協定ハ聯邦支出金以外ノ斯ル立替ヲ無利子ニテ八年以内ニ合衆國ニ支辨スベキ旨ヲ規定スルモノトス。斯クシテ獲得セル土地所有權ハメリーランド州之ヲ有ス。該土地ノ維持管理ハメリーランド首都公園計畫委員、之ヲ首都公園計畫委員ノ承認セル計畫ニ從ヒ爲スベシ。合衆國ハ聯邦補助公道トシテ以外ハ本項地所内公道建設費ヲ支辨スベカラズ。

第二條 本令條項實施ノ爲ヴァーヂニア、若ハメリーランド州ノ土地ヲ沒收手續ニヨリ獲得スル必要アル場合、

其ハ一八八八年八月一日、法令ノ條項ニ依ルベシ合衆國ノ該土地所有權ガ合衆國檢事長ヲ満足サスニ至リ、該土地ヘノ支拂ヲ爲スベシ。

第三條 ワシントン、フート、フントノ保壘若ハ其一ガ陸軍ノ目的ノ爲最早必要ナラザルニ至リタル時ハ、之ヲ無償ニテ首都公建築物、公園管理者ノ手ニ移シ、ジヨオヂ

ワシントン記念道ノ一部トシテ之ヲ維持管理セシムベシ

第四條 本條ニ反對ノ規定ナキ限り、修正一九二四年六月

六日ノ法令條項ニ從ヒ、首都、公園、公園道、遊園體系ノ適當ナル發展ニ必要ニシテ望マシキ、コロンビヤ地方ノ土地獲得ノ爲國庫金一千六百萬弗若ハ其ノ必要ナル一部ノ支出ヲ許可ス。該資金ハ一九三一年度分及ビ其後本令目的ノ速カニシテ經濟的、有效ナル完成ノ爲要求セラ

ルル所ニ從ヒ支出スベク、而シテコロンビヤ地方ヘノ國庫資金ヨリ次ノ如ク合衆國ニ辨償スベシ。即チ一九三一年六月卅日百萬弗、以後全額ガ無利子ニテ辨償サレル迄毎年六月卅日百萬弗。首都公園委員會ハ遊園地休養中心

地部落中心地其他同様ナ公共的目的ノ爲土地ヲ買收スル以前ニ、コロンビヤ地方委員會ニ對シ其調査書ヲ要求スベシ。該委員會ハ該公園、公園道遊園地體系ニ入ルヲ望マント考フル土地ノ合衆國ヘノ贈與ヲ受ケ、又本令ニヨル該土地獲得ノ資金ノ贈與ヲ受クルコトヲ得。

第五條 議會ノ本令修正、改正ノ權利ハ之ヲ留保ス。

第六條 修正一九二八年四月廿一日可決「大瀧橋梁會社及ビ其承繼者ヲシテ、大瀧附近ノポトマク河ニ架セル橋梁ノ建設維持經營ヲ爲サシムル法令」即チ第十七議會公令第二九七號第四號ハ最後ニ次文ヲ挿入シ之ヲ改正ス。

「尙、デヨウジワシントン記念公園道建設及ビ、合衆國ニヨル大瀧附近公園道土地獲得後ハ、合衆國ハ何時ニテモ、該橋其入口道、及ビ其ニ必要ナル不動産ノ凡ユル權利、所有權、利益ヲ本令第六條ニヨリ陸軍省ノ定ムル橋梁入口道ノ價格ニ一〇パーセントヲ加ヘタルモノヨリ以下ノ費用ヲ支拂ヒ、買收若ハ沒收ニヨリ獲得讓受スルコトヲ得。

一九三〇年五月廿九日可決

○第七一議會公第五〇號（失業救濟ノ爲至一九三一

年六月卅日會計年度ノ殘餘ノ期間中或種土木工事ノ緊急建設ノ爲ノ追加支出金ヲ規定スル法令）

失業救濟ノ爲、一九三一年會計年度ノ殘餘期間中、或種ノ土木工事ノ緊急建設ノ爲次額ノ國庫支出金ヲ許可ス

農 林 省

森林事務

國有林ノ改良。道路、林道、橋梁、防火道及ビ一九三一年會計年度農林省支出金令中ノ本項目下ニ特記セル事項ノ爲三百萬弗。

特殊道路項目

國有林公道、國有林境界內公道建設改良ノ爲、一九三一年會計年度三百萬弗。

未充當若ハ未指定公有地、不課税インデアン土地ニ於ケル道路。未充當未指定公有地、不課税インデアン土地及ビ

其他一九三〇年六月廿四日可決「増補修正一九一六年七月十一日可決、州地方郵便道建設合衆國補助金令ノ修正令」條項中、森林指定地以外ノ聯邦指定地中ノ主要道路ノ調査建設、再建、維持ノ爲、一九三一年會計年度三百萬弗。

聯邦補助公道體系。聯邦補助計畫ニ要スル州資金ニ對スル修正聯邦公道令ニヨル一時的資金立替トシテ該令條項ニ從ヒ、各州ヘ分配スル爲、八千萬弗。但該立替金ハ聯邦政府ニ對シ、一九三三年會計年度ヨリ始メ五ケ年ニ互リ、増補修正該令實施ノ爲ノ將來ノ正當ナル支出金中ヨリ控除スルコトニ依リ之ヲ辨償スベシ。尙此ノ結果立替フベキ金額ハ聯邦補助計畫ニヨル建設ノ爲、一九三一年九月一日以前ニ州ガ該立替ニヨリ各場合工事ニ支拂ヒタル金額ヲ超ユベカラズ。又州ガ本令分賦金ノ一部ヲ主張セザル場合、大統領ハ一九三一年九月一日以前ニ該資金使用可能ノ諸州ニ對シ該金額ヲ再分スベシ。

內 務 省

國立公園制定委員會

道路及び林道。内務省管轄國立公園及び國立記念建造物内ノ道路、林道、必要ナル橋梁建設、再建、改良ノ爲、一九三一年會計年度分一五〇萬弗。

陸軍省

技術部

河港。現存河港工事ノ保持及び其商業航行等ノ利益ニ最モ望マシキ既許可計畫遂行ノ爲、又一九三一年會計年度陸軍省支出金令中ノ本項目下ニ特記サレタル事項ノ爲、三千二百五十萬弗ハ陸軍省ノ指揮及び技術長官ノ監督下ニ之ヲ費消スベシ。

ミシツピー河及び其支流ノ洪水管理。一九三八年五月十五日可決洪水管理令條項ニ從ヒ洪水管理工事ヲ實施スル爲三百萬弗ヲ費消スルコトヲ得。

第二條 本支出金ハ之ヲ本令中目的物間ニ相互交換シテ大統領ノ金額、支出命令ニヨリ費消スルコトヲ得。

第三條 次ノ定時議會ノ最初ノ日、計畫其他ノ支出金内譯ニヨリ前年度支出金ノ各分配金額該分配ニヨル費消金額

ノ報告其他大統領ガ該支出金分配費消ノ爲議會ニ呈出スルヲ適當ト認ムル情報ヲ議會ニ呈出スベシ。

一九三〇年九月二〇日可決

〇(第七一議會公第五九二號)(國立公園入口道ノ規定一

九二四年四月九日法令修正令)

一九二四年四月九日可決「内務省所轄國立公園及び記念建造物中ノ道路、林道、必要ナル橋梁ノ建築再建、改良ヲ許可セル法令」ハ次文ヲ挿入シ之ヲ修正ス。

第四條 内務大臣ガ公共ノ利益ト認ムル時ハ、國立公園旅行ヲ爲サシムルヲ第一效用トシ、又合衆國ガ全部若ハ九

〇パーセント所有セル土地ヲ通過シ國立公園内公道ト、聯邦七パーセント公道體系上ノ若ハ之ニ至ル最モ便利ナル一點ヲ繋グ、國立公園道ノ公道體系ノ補助部分、若ハ國立公園入口道ヲ指定スルコトヲ得。斯ク指定サレタル入口道ハ、公園入口ト最モ近ク便利ナル七パーセント體系道上若ハ之ニ至ル上記地點トノ間ニ、長サ六十哩ヲ越ユベカラズ、又若シ該入口道ガ七パーセント體系道上ニ

アル時ハ、其ハ三十哩ヲ超過スベカラズ。尙一郡ニ於テ指定スル一ツノ入口道ハ四十哩ヲ超過スベカラズ。

經ベシ」

一九三二年一月卅一日可決

第五條 內務大臣ハ以後一九三二年及ビ一九三三年會計年

〇(第七一議會公第六八八號)(聯邦公道令ノ改正令)

度ニ斯ク指定サレタル入口道及ビ必要ナル橋梁ノ建設、

第一條 増補修正一九二一年十一月九日可決聯邦公道令ハ

再建改良ヲ國立公園道路、林道建設、再建、改良ト同様

第三條ノ後ニ次文ノ如キ第三條ノ(一)ナル新條ヲ挿入

ニシ又其ノ維持ノ爲州、若ハ郡當局ト、協定シ若ハ別ニ

シ之ヲ修正ス。

必要ナラバ其等ヲ維持スルコトヲ得、而シテ以上目的ノ

「第三條ノ一、農林大正ハ州道路局及ビ內務省ト協力シ

爲ニ、國庫金中ヨリ次ノ額ノ支出ヲ許可ス、至一九三二

インデアン指定地内ノ公道ヲ建設シ、且其ニ要スル費用

年六月卅日會計年度七百五十萬弗、至一九三三年六月卅

ヲ該指定地ノ所在セル州ニ本令ニ從ヒ支出分賦サルベキ

日會計年度七百五十萬弗、但農林大臣ハ內務大臣ト協定

資金ヨリ支拂フコトヲ得」

シテ本令條項ノ一部若ハ全部ヲ實施スルコトヲ得。尙該

第二條 本令ト矛盾スル法令若ハ法令ノ一部ハ之ヲ廢止ス

國立公園入口道ノ建設、再建、改良ノ爲毎年百五十萬弗

而シテ本令ハ公布ト同時ニ之ヲ實施ス。

以內ノ金額ヲ配賦スベシ。尙又本條ハ今後內務省當局ノ

一九三二年二月廿日可決

ミヲシテ國立公園、國立記念建造物内ノ道路、林道建設

〇(第七二議會公第三〇二號抽出)(貧窮救濟及ビ經濟再

再建、改良、維持セシムルヲ意味セズ。

建團體ノ融資力擴張及ビ土木工事計畫ノ制定助長ニ依

第六條 國有森林内ニ本令條項ニ依リ、入口道ヲ作ラント

ル失業救濟ノ法令)

スル時ハ內務大臣ハ建設工事ノ始ル前農林大臣ノ承認ヲ

第三章 土木工事

第三〇一條 (イ)失業救済及ビ一九二一年職業安定令ニヨル政策實施ノ目的ヲ以テスル或種ノ土木工事ノ緊急ナル築造ノ爲、國庫金三億二千二百二十二萬四千弗ノ支出ヲ許可シ之ヲ次ノ如ク配賦スベシ。

(一) 聯邦公道體系ノ緊急ナル築造ノ費用、一億二千萬弗該金額ハ之ヲ農林大臣増補修正聯邦公道令第二十一條ノ方法ニヨリ各州ニ分賦スベシ。州ニ配賦サレタル金額ハ該令條項ノ爲ノ州資金ニ對スル一時的立替トシテ之ヲ利用スルコトヲ得。本項目ニヨリ州ニ配賦サレタル金額中ヨリ州ハ毎年ノ各州ニ爲サルル正當ナル聯邦補助支出金(至一九三三年六月三十日會計年度分ヲ含ム)ニ相應スル額ヲ使用スルコトヲ得、此ノ場合賦金額ハ聯邦補助計畫ノ費用ノ該州分擔費ノ支拂ニ費消サルモノトス。本項分賦金ハ一九三三年七月一日以前實行サレタル聯邦公道體系ノ工事ニノミ之ヲ立替フルコトヲ得。尙斯克立替ヘラレタル金額ハ之ヲ聯邦放府ニ對シ一九三八年會計年度ヨリ始メ十ヶ年ニ互リ、増

補修正該令實施ノ爲ノ將來ノ正當ナル支出金中ヨリ控除スルコトニ依リ之ヲ辨償スベシ。尙又斯ル金額費消ヲ含ム凡ユル契約ハ州道路局ニヨリ豫メ定メラレ請負者ガ熟練及ビ不熟練勞働者ニ對シ支拂フ、最低賃金割合ヲ規定スル條項ヲ含マシムベシ。尙該最低限度ノ割合ハ入札ノ募集書中ニ述ベラレ、工事ニ對スル申込書及ビ入札書中ニ之ヲ含マシムベシ。又斯ル金額ノ費消ニハ増補修正聯邦公道令ニヨリ公道建設再建部落内橋梁及ビ聯邦資金ヨリ支出セラルル一哩當リ支拂ニ對スル制限ハ之ヲ適用セズ。本項ニ於テ「州」トハハワイ準州ヲ含ム。増補修正一九二一年十一月九日可決聯邦公道令中ニ所謂「公道」ナル語ハ本項ニ限り、聯邦補助公道體系ノ一部トシテ州ニヨリ指定サレ、農林大臣ニヨリ承認サレタル主要州公園道ヲ含ムモノトス。

(二) 至一九三三年六月卅日會計年度緊急建設ニ對スル費用トシテ千六百萬弗ヲ次ノ如ク支出ス。(A)國有森林道ノ建設改良ノ爲五百萬弗、(B)道路、林道、橋梁

防火道等及ビ一九三一年二月廿三日可決至一九三二年

六月卅日會計年度農林省支出金令中ノ「國有林支出金」

ナル項目中「國有林ノ改良」ナル語ニ始マル項ニ特記

セラルルモノノ爲五百萬弗、(C)内務省所轄國立公園

及ビ國立記念建造物並一九二六年五月廿二日法令、及

ビ一九二六年五月廿六日法令ニヨル國立公園豫定地中

ノ道路林道必要ナル橋梁及ビ全部若八九〇パーセント

迄政府所有ノ土地ヲ通過セル一九三一年一月卅一日法

令ニヨル國立公園記念建造物入口道、若ハ八哩以上ノ

其ノ一部ノ建設、再建、改良ノ爲、三百萬弗、(D)一

九二八年五月廿六日可決法令ノ條項ニヨルインデア

ン指定地道ノ建設改良ノ爲百萬弗、(E)増補修正聯邦公

道令第三條ニヨル未充當、未指定、公有地、不課税イ

ンデアン土地、森林指定地以外ノ聯邦指定地ヲ通ズル

主要道ノ調査、建造、再建、維持ノ爲、二百萬弗。農

林大臣及ビ内務大臣ハ各々合理的建設經濟ト一致スル

地方勞働者ノ最大限度ノ雇傭ヲ爲サシムル目的ヲ以テ

本條前記條項實施ノ爲規則ヲ制定スルコトヲ得。

一九三二年七月廿一日可決

○(第七二議會公第二一八號) (アラスカ準州道路委員會

ノ法律上ノ權利義務ヲ内務省ニ移スコトヲ規定スル法

令)

第一條 一九〇六年五月十四日法令修正、一九〇五年一月

廿七日法令及ビ其増補修正令規定ノアラスカ準州道路委

員會及ビ陸軍省ノ法律上ノ權利義務ハ本令ノ公布ニ依リ

以後内務省ニ之ヲ移シ、内務大臣若ハ其指揮ノ下ニ内務

大臣任命ノ官吏之ヲ處理ス。

第二條 内務大臣ハ從來陸軍大臣ノ指揮ノ下ニ該道路委員

會ニヨリ管理サレタル、アラスカニ於ケル道路、林道、

其他ノ工事ノ建設、維持ニ關スル凡ユル法律ヲ執行シ若

ハセシムベシ。アラスカ準州工事費用ノ爲該委員會ノ費

消スベキ現在迄ニナサレ現在モ利用シ得ル支出金若ハ將

來ノ支出金ハ之ヲ内務大臣ニ移シ、内務大臣ハ今後本令

條項ニ從ヒ之ヲ處理スベシ。而シテ該委員會ハ内務大臣

ニアラスカ準州ニ於ケル道路、電車、渡船場、橋梁、林道其他ノ工事ノ建造維持ノ實施ニ際シ内務大臣ガ使用スベキ凡ユル資材、設備、材料、書類、地圖、證書其他從來該委員會ノ爲シタル權能使用ノ爲入用ノ財物ヲ交付スベシ。

第三條 内務大臣ハ大統領ノ承認ヲ得テ、命令若ハ規則ニ依リ、交付サレタル權能義務及ビ其ニ附屬スル支出金ヲ其工事ノ一層經濟的且有效ナル完成ノ爲適當ト認ムル時ハ之ヲ分配シ又道路、林道、其他ノ工作物ノ使用ノ及ビ公共ノ利益ニ必要ニシテ望マシキ時ハ通行料ノ決定、蒐集ノ規則ヲ制定スル權能ヲ有ス。

第四條 從來農林大臣ニヨリ提出サレタル道路、林道、其他ノ工作物建設維持ノ爲ノ支出金ノ見積書ハ以後内務大臣之ヲ提出スベシ。

一九三二年六月卅日可決

○(第七二議會公第四一九號抽出) (聯邦補助公道體系)

(Federal-aid Highway system)

一九一六年七月十一日可決「州地方郵便道建設合衆國補助令」及ビ凡ユル其補助修正令實施ノ爲、該令ニ從ヒ費消スベキ國庫金ニシテ一九三〇年四月四日可決法令第一條ニヨル至一九三三年六月卅日會計年度分支出金一億二千五百萬弗中ヨリ一九三〇年九月二十日法令ニヨル各州ヘノ分配金千五百八十四萬七百四十三弗八六ヲ控除セル金額ノ一部ニシテ、コロンビア地方ノ省個有事業ノ爲ノ六十七萬二千九弗ヲ含メル金額三千五百萬弗ハ次ノ條件ニ從ヒ即時之ヲ費消スルコトヲ得。本支出金ハ之ヲ囚人勞働者ヲ使用スル計畫ノ爲州ニ支拂フベカラズ、但保釋執行猶豫ノ囚人ハ此ノ限りニ非ズ。一九二一年十一月九日聯邦公道令條項實施ノ爲ノ支出金中四萬五千弗ハ之ヲ該令條項實施ノ爲必要ナル自動旅客車ノ購入ニ當テ、中一臺ハコロンビア地方ノ道路局ノ管理工事ニ使用スルモノトス。尙他ノ政府官署ノ爲道路ノ調査、建築、維持改良ニ關シ、技術其他ノ事務ヲ爲ス場合、該事務ニ對スル負擔ハ使用サレタル技術的及ビ道路建設ノ設備ニ對スル減價ヲモ含ム、尙該負擔ノ爲受取

リタル金額ハ之ヲ關係支出金ニ繰入ルベシ。尙又今後聯邦公道令及び其附屬法令ノ處理ニ當リテハ、一九二一年十一月九日法令第九條第一項ハ、州道路局ニヨリ建設經營サレ公然認メラレタル賃取橋梁若ハ其入口道ニハ之ヲ適用セズ、但シ該橋經營ヨリ受クル全通行料ハ實際ノ經營維持費ヨリ少クシテ之ハ建設費用ノ支拂ニ充當サレ建設費用ガ完全ニ支拂ハレタル時ハ以後該橋ハ通行無料橋トシテ經營維持サルベキモノナリ。

一九三〇年十一月二十日可決「至一九三一年六月三十日會計年度ノ殘餘期間、失業救濟ノ目的ヲ以テ或種土木事業ノ緊急建造ヲ爲ス爲ノ追加支出金令」中ニ含マルル、未充當、若ハ未指定公有、地不課稅インデアン土地等ニ於ケル道路ノ爲ノ三百萬弗ノ支出金ハ之ヲ一九三四年會計年度期間中ハ利用スルコトヲ得。

一九三二年七月二十一日可決「貧窮救濟及び經濟再建團體ノ融資力擴張及び土木工事計畫ノ實施、助長ニヨリ失業救濟ノ法令」ニヨル未充當、未指定公有地、不課稅インデ

アン土地等ノ道路ノ爲ノ支出金二百萬弗ハ一九三四年會計年度間之ヲ利用スルコトヲ得、又四千三百七十三弗ハ之ヲコロンビア地方ノ直接事業ニ使用スベシ。

ジョーデア及び南カロリナニ於ケル道路橋梁ノ洪水救濟一九三〇年五月廿七日可決「一九二九年洪水ニヨル道路橋梁ノ損壞破壞ノジョーデア州救濟ノ爲ノ法令」及び一九三〇年六月二日可決「一九二九年洪水ニヨル道路橋梁ノ損壞破壞セル南カロリナ州救濟ノ法令」ノ條項ヲ農林大臣ヲシテ實施セシムル爲、一九三〇年第二缺乏令中ノ該目的支出金ノ未費消殘額ハ之ヲ一九三四年六月卅日迄利用スルコトヲ得。

アラバマ州ニ於ケル道路橋梁ノ洪水救濟。一九三〇年會計年度第一缺乏令中ノ支出金ノ未費消殘額ハ一九三〇年三月十二日可決「一九二九年洪水ニヨル道路橋梁ノ損壞破壞ノアラバマ州救濟ノ法令」ノ條項ヲ實施スル爲一九三四年六月三十日迄ハ之ヲ利用スルコトヲ得。

一九三二年緊急救濟、建設令第三章第三百一條（イ）ノ

(一) 項ハ其ノ中ノ「一九三三年七月一日」ナル語ヲ消シ
「一九三四年一月一日」ナル語ヲ挿入シ之ヲ改正ス。

公道局、支出金合計三千五百萬弗

一九三三年三月三日可決

○(第七三議會公第六七號抽出)

第二〇四條 (イ) 大統領ハ公道及ビ其計畫ノ緊急建造ノ目

的ニテ、増補修正一九二一年十一月九日可決聯邦公道令

ニヨリ各州道路局ノ費消スベキ金額四億弗ヲ各州道路局

ニ次ノ如ク讓渡スルコトヲ得。

(一) 聯邦補助公道體系及ビ其ノ部落ヘノ擴張ニ要スル

緊急建造費用。本項ニヨリ州ニ配賦スベキ金額ハ、調

査費計畫費及ビ公道橋梁建設、交叉ニ高底ヲ附ス等ノ

公道交通ノ危険除却現存鐵道交叉建造物ノ再建、鐵道

トノ交叉ヲ除去スル爲ノ公道ノ配置替、狹キ橋梁道路

ノ擴張、歩道ノ建設、危険橋ノ置換雜沓場所ヲ避クル

道路建設、交通ノ緩和、自由ナル流通及ビヨリ安全ナ

ル交通便宜若ハ歩行者、車ノ交通ノ爲ノ現存危険ヲ除

去スル其他ノモノ、建設費用ノ全部若ハ一部支拂ニ之

ヲ費消スルコトヲ得。本項資金ハ鐵道勾配除却計畫ニ

關シテ土地通行權地上權ヲ獲得スル爲ニ之ヲ使用スベ

カラズ。

(二) 州道路局及ビ農林大臣ニヨリ協定サレタル第二級

道若ハ支線道ノ緊急建設費用、但シ州若ハ責任アル行

政區ハ該道路ノ正シキ維持ノ準備ヲ爲スベシ。該讓渡

金ハ州道路局ガ計畫ヲ提出シ、其ヲ農林大臣ノ承認セ

ル第二級道、若ハ支線ノ調査、設計、改良、建設ノ充

分ナル費用ノ支拂ニ充ツベシ。

(ロ) 本條(イ)項讓渡金トシテ大統領ニヨリ分賦サレ

タル金額ハ、數州間ニ八分ノ七ハ増補修正一九二一年

十一月九日可決聯邦公道令第二十一條ニ從ヒ(該令ハ

コロンビヤ地方ヲ含ム本項目的ノ爲茲ニ之ヲ更ニ修正

ス)又八分ノ一ハ最近十年毎ノ調査ニヨリ該州人口對

合衆國人口ノ比ニ應ジ一九三三年七月一日以後之ヲ利

用シ悉ク費消シ得ベシ、州ニ配賦サレタル資金ニ對シ

テハ州ハ何等適應資金提出ノ必要ナク、又該資金ハ聯邦補助支出金ノ過去ノ配布金ノ殘リニシテ未ダ使途定ラザル金額ニ適應スベキ州資金ノ代リニ之ヲ利用スルコトヲ得。

(ハ) 該讓渡金ノ費消ヲ含ム凡ユル契約ハ、州道路局ニヨリ豫メ定メラレタリ熟練及ビ不熟練勞働者ニ請負者ガ支拂フベキ最低賃金ノ割合ヲ定ムル條項ヲ含ムベシ其ハ入札募集書及ビ該工事ノ入札ニ對スル申込書中ニ之ヲ含マシムベシ。

(ニ) 該金額費消ニ際シテハ部落内公道建設、再建、橋梁ニ關スル又聯邦資金ヨリナサルベキ理當リ支拂ニ關スル増補修正一九二一年十一月九日可決聯邦公道令ニヨリ制限ハ之ヲ適用セズ。

(ホ) 本令ニ於テ「州」トハハワイ準州、コロンビア地方ヲ含ム、増補修正一九二一年十一月九日可決聯邦公道令中ノ「公道」ナル語ハ本條ノ目的ノ爲ニハ州ニヨリ聯邦補助公道體系ノ一部トシテ指定サレ、農林大巨

ノ承認セル主要公園道ヲ含ムモノトス。

(ヘ) 本條若ハ本令第二百二條ニヨル公道計畫建設ニ關シ、合衆國政府ノ所有管理スル財物若ハ土地上ニ通行權ヲ獲得スル必要アル場合、法令實施及ビ斯クノ如クシテ得ラレタル通行權讓渡ニ必要ナル契約實行ハ大統領及ビ合衆國檢事長ノ承認ヲ得テ該財物土地ヲ管理スル合衆國政府ノ當該官吏ノ義務ニシテ合衆國側ニ何等ノ費用ヲ費消セシムベカラズ、但シ契約ノ首題タル土地、財產ガ公道ノ爲用ヒラレザルニ至リタル時ハ該土地財產ニ對スル所有權ハ自ラ合衆國政府ニ歸ス。契約ハ其旨規定スベシ。

(ト) 今後聯邦公道令及ビ其増補修正令實施ニ際シ該令第九條第一項ハ州道路局ニヨリ經營サレ、該橋經營ヨリ生ズル凡ユル通行料ハ經營維持ノ實際ノ費用ヨリハ少クシテ之ハ其ノ建設、獲得ノ費用ノ支辨ニ充テラレ其建設獲得ノ費用ガ充分辨濟サレタル時ハ、該橋ハ其後之ヲ通行無料橋トシテ維持經營ステフ條件ノ附セル

公認通行料徴收橋若ハ其入口道ニ之ヲ適用セズ。

第二百五條 (イ)本令支出金ハ之ヲ左ノ項目ニ分賦シ、且

ツ一九三二年緊急救済建設令第三百一條ノ條項ニ於ケル

ト同様ニ費消スベシ、(一)國有森林公道、(二)國有森林

道、林道、橋梁及ビ關係計畫、(三)國立公園内既許可、

既認可ノ國立公園道、林道、(四)インデアン指定地上道

路、(五)公有地貫通過。

第二百六條 本章ニヨル建設計畫、貸借、讓渡ノ爲ノ契約

ハ總テ次ノ事項ヲ保證スルニ必要ナル條項ヲ含マシムベ

シ。(1)囚人勞働者ハ該計畫ニ之ヲ使用スベカラズ、(2)執

行管理監督ノ立場ニ在ル者ヲ除キ、實際的實行のナル限

リ、該計畫ノ爲直接被備セラル、個人ハ一週間三十時間

以上勞働スルヲ許サズ。(3)被備者ハ全部、勞働時間制限

ノ場合ヲ除キ、上品、安樂ナル標準生活ヲ爲スニ充分ナ

ル報償ヲ受クベシ。(4)該計畫ニ關聯シテ勞働者ヲ雇傭ス

ル場合、優先權ハ先ヅ之ヲ依食者ヲ有スル退職公務員次

ニ次ノ如キ順序ニテ與フベシ。(a)工事ノ遂行サル、政

治區若ハ郡ノ善良ナル住民タル合衆國市民若ハ市民タラ

ントスル意志ヲ公表セル外國人、(b)工事ノ遂行サル、

州準州地方ノ善良ナル住民タル合衆國市民若ハ市民タラ

ントスル意志ヲ公表セル外國人、但シ是等先權ハ雇傭

セントスル仕事遂行上適當ニシテ可能ナル勞働者ニノミ

與ヘラルベシ。(5)人力勞働ハ實際的ニシテ、充分經濟的

公共的利益ト一致スル限り、最大限度迄機械力ニ代リテ

之ヲ使用スベシ。

一九三三年六月十四日可決

○(第七三議會公第一三二號抽出)(聯邦補助公道體系)

一九一六年七月十一日可決「州地方郵便道建設合衆國補

助令」及び其増補修正令實施ノ爲、コロンビヤ地方省直接

事業ノ爲ノ十七萬六千四百弗ヲ含ミ、一九三〇年四月四日

可決法令第一條ニヨル至一九三三年六月三十日會計年度支

出金一億二千五百萬弗ノ一部八百萬弗ハ即時之ヲ次ノ條件

ニヨリ使用スルコトヲ得、即チ本支出金ハ之ヲ囚人勞働者

ノ被備セラル、計畫案ノ爲州ニ支拂フヲ得ズ。但シ保釋、

執行猶豫囚人ノ場合ハ此ノ限りニ非ズ。又一九二一年十一月九日聯邦公道令實施ノ資金四萬五千弗ハ之ヲ該令條項實施ニ必要ナル自動旅客車ノ購入ニ充ツベク、其ハコロンビア地方公道局執行工事ニ使用スル爲ノ車一臺ノ取換ヲ含ム。尙又一九三五年會計年度ニ、他ノ政府官廳ノ爲道路ノ調査、建設、維持、改良ニ關スル技術的、其他ノ事務ヲ爲ス場合、該事務ニ對スル負擔ハ使用サル、技術及ビ道路建設々備ノ減額ヲ含ミ、且ツ該負擔ニ對シ受取リタル金額ハ之ヲ關係支出金ニ繰入ルベシ。尙又一九三二年七月二十一日可決「貧窮救濟、經濟再建團體ノ融資力擴張土木事業計畫ノ制定、助長ニヨル失業救濟ノ法令」ニヨル未充當、未指定公有地、不課税インデアン土地、等ノ道路費トシテノ支出金二百萬弗ハ之ヲ一九三五年會計年度間ハ引繼ギ利用スルコトヲ得且ツ四千二百九十弗ハコロンビア地方ノ直接事業ノ爲之ヲ使用スベシ。公道局支出金總計八百萬弗

森林道及ビ林道

研究

一九二一年十一月九日可決、聯邦公道令第二十三條項實施ノ爲、コロンビア地方省直接事業費一萬五百二十一弗ヲ含ミ一九三〇年五月五日可決法令ニ依ル一九三三年會計年度支出金ノ一部、國庫金百五十萬弗ハ次ノ條件ニヨリ之ヲ支出ス。即チ本支出金ハ之ヲ道路、林道ノ建設維持ノ爲使用セラル、設備、資材、保管ニ必要ナル建築物ノ賃借、買収、建設ノ爲之ヲ使用スルコトヲ得、但シ本支出金ニヨリ買収若ハ建設サレタル該建築物ノ全費用ハ二千五百弗ヲ超過スベカラズ。但シ至一九三五年六月三十日會計年度間本令支出金若ハ以前ニナサレタル同様支出金ヨリアラスカ公道ヘノ支出ハ三十五萬弗ヲ超過スベカラズ。

一九三四年三月二十六日可決

○(第七三議會公第一五五號)(道路ノ爲ニ或土地ノ地上權ヲミンウリー州ノグリーン郡ノスプリングフィールド特別道路管區ニ讓渡スル法令)

第一條 (省略)

第二條 該地上權ハ道路ノ目的ニノミ之ヲ讓渡ス、而シテ

若シモ贈與サレタル目的以外ニ使用サレタル場合、若ハ公道ナルコトヲ廢止取消サレタル時、ハ北米合衆國ノ完全財産ニ成リ若ハ還元ス。

第三條 合衆國不具犯罪者病院建設維持ニ利用サル、支出金ノ殘額五千弗ハ、檢事總長ノ裁量ニヨリ、之ヲミゾウリイ州グリーン地方スプリングフィールド、特別道路管區ノ當局ニ對シ該管區道路建設ニ對スル、又、該道賦課税ノ代リノ政府寄贈金トシテ之ヲ支拂フコトヲ得、而シテ該金額ハ本目的ノ爲之ヲ悉ク費消シ得ベシ。

一九三四年四月十三日可決

○(第七三議會公第二四四號) (所謂「チツチエス公園道」ナル國道建設ノ爲所謂「ナツチエス道」ナル古代インデアン林道調査費五萬弗ノ支出金ヲ規定スル法令)

(省略) (一九三四年五月二十一日可決)

○(第七三議會公第三九三號) (公道緊急建設及ビ關係計畫及ビ増補、修正一九六年七月十一日可決、聯邦補助公道令修正支出金許可ニヨル失業救濟令)

第一條 公道緊急建設及ビ其他ノ關係計畫實施ニ依ル失業救濟ノ爲、農林大臣ガ一九三三年六月十六日可決國家產業復興令第二百四條々項ニヨリ該條ニヨル州道路局費消金額トシテ、各州ニ分配スベキ國庫支出金二億弗ヲ許可ス。尙州配賦金ノ二五パーセントハ第二級道若ハ支線及ビ農園市場道、地方郵便配達道、公立學校バス道路ニ之ヲ費消スベシ。但シ農林大臣ハ州公道局ガ之ヲ要求シ満足スレバ第二級道若ハ支線ニ費消スベキ州分賦金ノ歩合ヲ更ニ低メルコトヲ得。尙更ニ、該令第二百四條(イ)

(二)ノ條項ニヨリ分布サレタル資金ハ步行若シクハ車行交通ニ對シヨリ安全ナル交通便宜ヲ與ヘ、確實ニ現存危険ヲ除去スル建設費ニモ亦之ヲ費消スルコトヲ得。

第二條 公道其他ノ關係計畫ノ緊急建設實施ニヨリ失業者救濟ヲ爲ス爲、公道、道路、林道、橋梁及ビ國立公園、記念建造物(一九三三年六月十日附實施命令ニヨル國立公園、事務管理ニ移サレタル地域ヲ含ム)ノ調査、建設、再建、維持ノ爲費消サルベキ、一九三三年六月十六日可

決國家産業復興令第二百五條、(イ)條項割當金トシテ國庫支出金二千四百萬弗ヲ許可ス。

第三條 聯邦公道令條項ニヨリ從來支出サレ今後支出スベキ金額千萬弗ハ農林大臣之ヲ該條々項ニ從ヒ、州道路局ヨリ申請書ヲ受ケタル後緊急救済資金トシテ、調査後洪水、颱風、地震、地滑リ等ニヨリ損壞破壞サレタル聯邦補助公道體系ノ公道、橋梁ノ修繕、再建ニ之ヲ利用スベシ。而シテ本條當局者ノ時トシテ費消スバキ資金辨濟ニ必要ナル金額ノ支出ヲ許可ス。

第四條 一九一六年七月十一日可決一州地方郵便道建設合衆國補助金令」及ビ其増補修正令條項實施ノ爲該令條項ニ從ヒ費消スベキ國庫金、至一九三六年六月三十日會計年度一億二千五百萬弗至一九三七年六月三十日會計年度一億二千五百萬弗ノ支出ヲ許可ス。

本條ニヨル州ヘノ配賦金ハ總テ該金額支出ノ許可サレタル會計年度終了後一年間ニ之ヲ費消スベシ而シテ費消可能期間終了後未費消ノ殘額ハ聯邦公道令第二十一條々

項ニ從ヒ之ヲ州ニ再分スベシ。

第五條 一九二一年十一月九日可決、聯邦公道令第二十二條々項實施ノ爲、該條項ニ從ヒ費消スベキ國庫金至一九三六年六月三十日會計年度分一千萬弗、至一九三七年六月三十日會計年度分一千萬弗ノ支出ヲ許可ス。

第六條 一九三〇年六月二十四日修正、一九二一年十一月九日可決、聯邦公道令第三條項實施ノ爲未充當、未指定公有地、不課税インデアン土地、若ハ其他ノ森林指定地以外ノ聯邦指定地上道路ノ調査、建設、再建維持ノ爲悉ク費消スベキ國庫金至一九三六年六月三十日會計年度分二百五十萬弗至一九三七年六月三十日會計年度分二百五十萬弗ノ支出ヲ許可ス。

第七條 國立公園、記念建造物、其他一九三一年一月三十一日法令ニヨル國立公園、記念建造物豫定地及ビ入口道路、林道、必要ナル橋梁ノ建設再建、改良ノ爲國庫金至一九三六年六月三十日會計年度七百五十萬弗至一九

三七年六月三十日會計年度七百五十萬弗ノ支出ヲ許可ス
 第八條 一九二八年五月二十六日可決インデアン指定地
 ノ建設改良ノ爲、國庫金至一九三六年六月三十日會計年
 度四百萬弗、至一九三七年六月三十日會計年度四百萬弗
 ノ支出ヲ許可ス。

第九條 增補修正一九二二年十一月九日可決聯邦公道令中
 ノ「公道」トハ州ニヨリ聯邦補助公道體系ノ一部トシテ
 指定サレ、農林大臣ニヨリ承認サレタル主要公園道ヲ含
 ム。

第十條 一九二二年十一月九日可決聯邦公道令第十九條ハ
 之ヲ次文ノ如ク訂正ス。

「第十九條、毎年一月ノ第一月曜以前ニ農林大臣ハ施工
 々事詳細、各計畫ノ地位支出金ノ分配、費用ノ項目別叙
 述本令ニヨル前會計年度間ノ受領書、旅費其他傭人表、
 其義務、給料、旅費等ノ項目別叙述及ビ此ノ增補修正新
 立法ニ對スル意見等ヲ含メル報告書ヲ議會ニ提出スベシ
 農林大臣ハ又議會ノ要求スル特別ナ報告ヲ爲スベシ」

第十一條 農林大臣ノ承認ヲ得テ本令第一條及ビ第二條ニ
 ヨリ州ニ毎年配賦スベキ金額ノ一・五パーセントハ之ヲ
 聯邦補助公道體系及ビ其擴張若ハ第二級道即チ支線ノ何
 レカノ該州ニ於ケル將來ノ建設計畫ノ調査、設計、技術
 的測量等ニ使用スベシ。

第十二條 一九三五年六月三十日以後自動車交通税ノ手續
 ハ公道建設、改良、維持ノ爲ナサレザル限り違法、不正
 ナル故、少クモ州自動車登録税、免許料、ガソリン税、
 其他自動車所有者、及ビ凡ニル種類ノ經營者ニ對スル特
 別税ヨリ得タル該目的州法定金額ヲ公道ノ建設、改良維
 持及ビ其ニ關スル管理料、收入金保證ノ支拂證券回收費
 等ニ農林大臣ノ時トシテ公布スル規則ニ從ヒ使用スル州
 ニ對シ、公道建設聯邦補助金ハ之ヲ擴張スベシ。但シ如
 何ナル場合ニ於テモ支出金ノ爲サレタル該年度分トシテ
 州ガ今後受クベキ資格アル國庫支出金々額ノ三分ノ一以
 上ヲ州ヨリ奪フモノニ非ズ。

第十三條 增補修正一九二二年十一月九日可決聯邦公道令

ニヨル部落内公道建設、再建、橋梁及ビ聯邦資金ノ哩當
リ支拂ニ關スル制限ハ今後之ヲ撤廢ス。

第十四條 聯邦公道令ノ要求ニヨル前立替金及ビ貸付金ニ
對シ及ビ貧窮人口救済及ビ其事業完成ノ爲ノ一九三二年
緊急救済建設令第一條支拂ニ對シ今後如何ナル控除モ爲
スコトヲ得ズ。

第十五條 一九二九年三月四日可決公決議第一〇四號中ノ
豫定汎米公道共同踏査調査ノ繼續ノ爲、農林大臣ハ増補
修正一九一六年七月十一日法令ニヨル管理資金ヨリ該事
業入費ノ全部ヲ支拂フ爲、七萬五千弗ヲ費消スルコトヲ
得。

第十六條 本令條項ト矛盾スル法令若ハ其一部ハ之ヲ廢止
ス、而シテ本令ハ公布ト同時ニ之ヲ實施ス。

一九三四年六月十八日可決

○第七三議會公第四一二號抽出

全米公道、大統領ガ自己ノ裁量ニテ汎米聯合ノ一員タル
各政府ト協力シテ豫定全米公道ノ踏査建設ニ關シ百萬弗ヲ

費消スルコトヲ得。該金額ヲ費消スルニハ先ヅ、該調査
建設ニ共同スル政府ヨリ大統領ノ満足スル保證書ヲ受領
スベシ。

一九三五年會計年度公道其他關係計畫ノ緊急建設ニヨリ
失業ヲ救済スル爲一億弗ヲ費消スルコトヲ得。該金額ハ本
令制定後一九三三年六月十六日可決國家產業復興令第二百
四條ニヨリ農林大臣之ヲ各州道路局ニ配賦シ、各州道路局
ハ之ヲ該條ニ從ヒ費消スベシ、尙該金額ハ一九三四年六月
可決「公道及ビ關係計畫緊急建設金支出ニヨル失業救済及
ビ増補修正一九一六年七月十一日可決聯邦補助公道令修正
法令」第一條ニヨル支出金二億弗ノ一部ヲ爲ス。

一九二一年十一月九日可決聯邦公道令第二十三條實施ノ
爲、該條ニ從ヒ費消スベキ金額一九三五年會計年度千萬弗
ノ支出ヲ許可ス。

増補修正一九二一年十一月九日可決聯邦公道令第三條實
施ノ爲、未充當、未指定公有地、不課税インデアン土地、
若ハ森林指定地以外ノ聯邦指定地上ノ道路、調査、建設、

再建維持ノ爲費消スベキ金額二百五十萬弗ノ支出ヲ許可ス

内務省

國立公園、建造物、及ビ國立公園制度ニヨル地域及ビ其豫定地域中ノ道路、林道必要ナル橋梁、及ビ國立公園、記念建造物入口道ノ建設、再建改良ノ爲費消スベキ金額一九三五年五百度萬弗ノ支出ヲ許可ス。

一九二八年五月二十六日可決法令條項ニ從ヒ、インデア指定地道ノ建設改良ノ爲、費消スベキ金額一九三五年會計年度二百萬弗ノ支出ヲ許可ス。但シ支出金ノ費消ヲ爲ス前全道路橋梁ノ配置型仕様等ニ付キ公道局ノ承認ヲ經ベシアラバマ州道路橋梁洪水救濟、一九三〇年三月十二日可決一九二九年洪水ニヨル道路、橋梁ノ損壞、破壞ニ付アラバマ州救濟令條項實施ノ爲ノ一九三〇年會計年度第一缺乏令中支出金ノ殘額ハ一九三五年六月卅日迄之ヲ利用スルコトヲ得。

一九三四年六月十九日可決

○(第七四議會公決議第十一號)(抽出)(救濟支出金合同

決議

(イ) 公道、道路、街路、高底交叉除去、八億弗

今後特記ノ場合ヲ除キ、公道其他國有林、國立公園、國立公園道、其他聯邦指定地關係計畫建設ノ爲ノ支出金配賦金額ハ農林大臣之ヲ増補修正一九二一年十一月九日聯邦公道令條項ニヨリ州公道局費消ノ爲、國家產業復興令第二百四條ニ從ヒ配賦スベシ。但鐵道交叉點現存危險除去、既存鐵道高底交叉施設ノ再建、高底交叉除去ノ爲ノ鐵道配置替等ノ爲ノ分賦金ハ農林大臣之ヲハワイ準州、コロンビア地方ヲ含メル各州ニ、二分ノ一ハ最近十年毎戸口調査ニヨル人口割合ニ四分ノ一ハ農林大臣決定ノ聯邦補助道路體系ノ哩數ニ、四分ノ一ハ全州商業委員會決定ノ鐵道鐵道哩數ニ應ジ、州道路局之ヲ増補修正一九二二年十一月九日聯邦公道令條項及ビ一九三四年六月十八日該令第一條ニヨリ使用スル爲分賦スベシ。但此ノ合同決議案ニヨリ公道高底交叉ノ爲州、準州ヘノ分賦資金ニ應ジ州準州ハ資金ヲ提出スベシ。尙又大統領ハ本合同決議ニヨリ資金ヲアラスカポエト

リコ、處女島等ノ公道建設、修繕、改良ノ爲配賦スベク又
本合同決議ニヨリ救済官署ニ分配スベキ金額ハ該官署之ヲ
道路街路ノ建設改良ノ爲費消スベシ。尙又本公道其他關係
計畫建設支出金ノ費消ハ、大統領ノ本項實施ノ爲發スル規
則ニ從フベシ、而シテ勞働者雇傭ノ際ニ於ケル優先權ハ
（施行、行政、監督、熱練等ノ地位ノ人々ヲ除キ）適當ニ
シテ且救恤ヲ受ケツ、アル人ニ之ヲ與ヘ、又大統領ハ各州
ニ對シ勞働時間、該建設ニ從事スル熱練、中間、不熱練勞
働者ニ支拂フベキ賃金ヲ豫メ決定スルコトヲ得。

第十三條（イ）本合同決議支出資金ヲ以テ、土木事業用ト
シテ、物貨、材料、資材ヲ獲得スルハ一九三四年會計年
度、國庫郵便事務支出金令第三章第二條ニ從フベシ、又
本合同決議條項ニヨル凡ユル契約ハ該令第三章第三條項
ニ從フベシ。

（ロ）本合同決議ニヨル支出金ヨリスル聯邦、若ハ非
聯邦計畫資金ノ配賦讓渡分配ハ總テ、該計畫實施ニ要ス
ル物貨、材料、資材獲得ノ爲ノ該令第三章條項適用ノ約

定ヲ容ルベシ。

一九三五年四月八日午後四時可決

○（第七四議會公決議第一九號）（ワシントン市ニ於ケル

現在ノリンコロン、記念碑トペンシルバニヤ州ゲッツ

イブルグ戰場ヲ繋グワシントン、リンコロン記念、ゲ

ツテイブルグ廣小路建設委員會設立合同決議）

第一條 ワシントン市ノ現在ノリンコロン記念碑トペンシ

ルバニヤ州ノゲッツテイブルグ戰場ヲ繋グ、ワシントン、

リンコロン記念ゲッツテイブルグ廣小路建設ノ爲、所謂

合衆國委員會ヲ設立シ、其ハ次ノ十三名ノ委員ヨリ成立

ス、合衆國現在大統領、上院議長、下院議長、コロンビ

ヤ地方委員會委員長（以上職權上ノモノ）合衆國大統領

ノ選出セル二人、當時下院議長選定ノメリーランド州選

出下院議員一名、ペンシルバニヤ州選出下院議員一名、

農林省公道局長、內務省國立公園制度委員長、コロンビ

ヤ地方技術委員、メリーランド州選出上院議員一名、ペ

ンシルバニヤ州選出上院議員一名、該委員ハ無報償ニテ

奉仕シ、上記人員ヨリ議長ヲ選出スベシ。

第二條 本決議條項ニヨリ委員會ニヨリ支拂ハルベキ金額

一萬弗ヲ支拂ヲ許可ス。

第三條 農林省公道局ペンシルバニヤ州ゲツテイブルグ戰

場ト、ワシントン市ノ現在ノリンコン記念碑及ビワッ

ントン記念建造物ヲ繋グ廣小路、若ハ道路建設ノジョー

ヂ、ワシントン及ビアブラハムリンコンノ公務表彰ノ

爲ペンシルバニヤ州、メリーランジ州、コロンビヤ地方

道路局ト協調シ、且之ニ提出サレタル計畫案ニ適當ノ考

慮ヲ與フルハ委員會ノ義務ナリ。

第四條 該委員會ハ委員中ヨリ委員長、副委員長選出後該

委員會義務ニ關連シテ屬官、其他ノ補助者ヲ雇傭シ専門

家ノ事務ヲ要求シ、該目的支出名額以内ニテ各報償ヲ決

定スベシ。

第五條 委員會ハ義務ノ遂行ニ當リ費消シタル實費ニシテ

必要ナル旅費宿泊費其他ノ費用ヲ支出金ヨリ支辨スベシ

第六條 委員會ハ本決議制定期日後一年以内ニ、立法制定

ノ爲議會ニ報告スベシ、但該立法ハ該公道、廣小路ハベ

ンシルバニヤ州、メリーランド州、コロンビヤ地方ノ道

路局ガ農林省公道局長ノ監督ノ下ニ、該州地方ニ準備サ

レタル資金、及ビ該州地方ヘノ聯邦補助公道資金ノ將來

ノ分賦金、讓渡金ヲ使用シテ之ヲ建設スベキ旨ヲ規定ス

公布本令ハ聯邦資金ヲ費消シテ合衆國ニ該公道廣小路ノ

建設ヲ委任スルモノニ非ズ、若シ斯カルコトアリトスル

モ該公道、廣小路建設聯邦資金ハ該州地方ニ對スル將來

ノ聯邦補助公道支出金及ビ讓渡資金ノ分賦金ナルベシ。

本令當局者ノ支出金ハ農林大臣ノ決定スル該州、地方ニ

對スル現在將來ノ支出金中次期聯邦補助資金、讓渡資金

ノ分配若ハ割當ヨリ之ヲ控除スベシ。

第七條 此處ニ言フ委員會ナル語ハ豫定廣小路、公道完成

後一年以内ニ消滅ス。

第八條 本合同決議ハ直ニ效力ヲ生ズ。

一九三五年五月廿日可決

○(第七四議會公決議第二八號)(インデアン指定地道ノ

建設、修繕、維持ノ爲一九三六年會計年度支出金ヲ即
時利用セシムル公決議)

至一九三六年六月卅日會計年度内務省支出金令中ノイン
デアン指定地道ノ建設、修繕、維持ノ爲ノ四百萬弗ノ支出
金ハ之ヲ即時利用スルコトヲ得。

一九三五年六月十四日可決

○(第七四議會、公、第三四五號)(北米合衆國西北部、

ト英領コロンビア、ユーコン準州、アラスカ準州連結
公道ノ豫定、調査、配置建設ニ關スル法令)

第一條 合衆國大統領ハ適當ト考フル手段ヲ以テ、北米合
衆國政府及ビカナダ自治領政府間ニ協約ヲ締結シ、北米
合衆國西北部太平洋岸トカナダ自治領ユーコン準州ヲ締
結スル公道ノ調査、配置、建設ヲ爲スコトヲ得、又加奈
陀自治領政府ト共同シテ、該公道ノ爲最モ實際的ナル路
線決定、其ノ概要書、費用見積書、及ビ其建設維持經濟
計畫ヲ決定スベキ調査ヲ爲サシムルコトヲ得。

第二條 大統領ハ條約ノ終末及ビ協約ノ實施ニ際シ、該目

的ノ爲合衆國政府現存官署ヲ指定シ、或ハ本令目的ノ爲
官署官吏ヲ特ニ創設シ、該公道路線ノ調査、配置工事、
及ビ該路線ガ大統領ニヨリ決定承認サレタル後ノ建設工
事ヲ實施セシムベシ。大統領ニヨリ指定選定サレタル官
吏、官署ハカナダ自治領政府選出ノ同様、官吏官署ト直
接交渉シ、該公道ノ調査、配置、建設工事ヲ協力助長ス
ルコトヲ得。

一九三五年八月廿六日可決

○(第七四議會公第六八六號)(増補修正一九一六年七月

十一日可決聯邦補助公道令修正令)

一九一六年七月十一日可決「州地方郵便道建設合衆國補
助金令」及ビ其増補修正令條項實施ノ爲該令ニ從ヒ費消ス
ベキ國庫金至一九三八年六月卅日會計年度一億二千五百萬
弗、至一九三九年六月卅日會計年度一億二千五百萬弗ノ支
出ヲ計可ス。

(イ) 本條ニヨリ許可サレ州ニ配當サレタル金額ハ、該

金額支出會計年度終了後一年間ハ之ヲ費消スルコトヲ

得、而シテ消費可能期間終了後未費消ナル金額ハ一九二二年聯邦公道令第二十一條ニヨリ之ヲ各州ニ再分スベシ。

(ロ) 毎年一月一日以前農林大臣ハ一九二一年聯邦公道令第二十一條ニヨリ、各州ニ其直後會計年度分金額ヲ分配スベシ。該支出金ガ分配サレタル時ハ、州公道局ハ農林大臣ノ承認ヲ求ムル爲ニ、計畫ヲ提出スベシ、農林大臣ハ提出サレタル該計畫ヲ基トシテ行爲シ而シテ農林大臣ノ該計畫承認ハ聯邦政府ノ應分ノ支出金支拂ニ對スル契約的債務ナリト見做スロトヲ得、但該支出金ノ許可サレザル會計年度以前ニ配賦承認サレタル計畫ハ州之ヲ契約シ、其建設ヲ開始スルコトヲ得、但該會計年度開始以前ノ州、準州ヘノ全額辨償ハ該州、準州ヘノ以前ノ配賦金總額ヲ超過スルヲ得ズ。

(ハ) 増補、修正一九二一年十一月九日可決、聯邦公道令中ノ公道ナル語ハ、聯邦補助公道體系ノ一部トシテ州指定、農林大臣承認ノ主要公園道ヲ含ムモノト看做

ス。

(ニ) 一九三六年若ハ一九三七年會計年度内ニ、農林大臣ガ州ニ付キ、州ガ一九三四年六月十八日法令第十二條ニヨル自動車交通ノ凡ニル特種税ノ手續ヲ該條規定ノ道路目的ニ適用シ、又建設以外ノ目的ニ該手續ヲ適用シタル後ニ於テ増補修正一九二一年聯邦公道令條項ニ從ヒ、該兩年度若ハ其何レカ年度トシテ、該州ニ配賦サレタル既定聯邦補助道路支出金ノ全部若ハ一部ニ應ジ州ニ於テ支出スベキ建設ノ爲ノ殘額金不充分ナリト認ムル時ハ、該州ガ之ニ適應シテ支出スル能ハザル國庫支出金ノ全部若ハ一部ハ該州ニ於テ、州適應資金ノ支出ヲクシテ聯邦公道令ニ從ヒ該州ノ支出ニ費消スルコトヲ得。

第二條 一九二一年聯邦公道令第二十三條項實施ノ爲、該項ニ從ヒ森林道、道路、林道ノ爲費消スベキ國庫支出金至一九三八年六月三十日會計年度千四百萬弗、至一九三九年六月卅日會計年度千四百萬弗ノ支出ヲ許可ス。但第二

第十三條實施ノ爲ノ會計年度支出金ノ三分ノ一ハ三百萬弗ヲ超過セザル限リ該條（イ）ノ（二）項所載目的ノ爲之ヲ費消スベシ。尙又毎年一月一日以前、農林大臣ハ第二十三條、各州アラスカ、及ビプエトリコニ其直後會計年度ノ支出額ヲ分配、配賦スベシ。而シテ農林大臣ハ該支出金計畫ヲ承認シ支出金分配ノ義務ヲ負ヒ、契約ヲ爲スコトヲ得、而シテ農林大臣ガ斯クスルハ之ヲ該費用支拂ニ對スル聯邦政府側ノ契約的義務ト看做スベシ。

第三條 一九三〇年六月廿四日修正、一九二一年聯邦公道令第三條條項實施ノ爲、未充當、未指定公有地、不課税インデアン土地、其他森林指定地以外ノ聯邦指定地ニ於ケル主要道ノ調査、建設、再建、維持ノ爲費消スベキ國庫金至一九三八年六月卅日會計年度分二百五十萬弗、至一九三九年六月卅日、會計年度分二百五十萬弗ノ支出ヲ許可ス。

第四條 國立公園、記念建造物、其他國立公園制度管理地

域、其ノ豫定地内ノ道路、必要ナル橋梁、及ビ修正一九三一年一月三十一日法令ニヨル國立公園、記念建造物入口道建設再建、改良ノ爲、至一九三八年六月卅日會計年度分七百五十萬弗、至一九三九年六月卅日會計年度分七百五十萬弗ノ國庫金支出ヲ許可ス。

第五條 州若ハ個人ヨリ合衆國ニ所有權ノ讓渡サレタル土地ヲ通過シテ、國立公園及ビ國立記念建造物ニ至リ、若ハ國立公園計畫ノ連結地點ヲ爲ス公園道ノ建設、維持ノ爲、至一九三八年六月卅日會計年度分千萬圓、至一九三九年六月卅日會計年度分千萬弗ノ國庫金支出ヲ許可ス。尙公有地、國立公園若ハ聯邦指定地上ノ該公園道ノ配置ハ該土地ニ管轄權ヲ有スル省及ビ國立公園制度委員會間ノ協約ニヨリ決定サルモノトス。

第六條 一九二八年五月廿六日可決、法令條項ニヨルインデアン指定地ノ建設改良ノ爲至一九三八年六月卅日會計年度分四百萬弗、至一九三九年六月卅日會計年度分四百萬弗ノ支出ヲ許可ス。但一九二八年五月廿六日該令條

項ニヨリ建設サレタル道路ノ配置、形式、仕様ハ支拂ノ費消サルル以前公道局ノ承認ヲ經ベシ。請負ニヨル建設ハ凡テ該道路局ノ一般的監督ニ服スベシ。

第七條 増補、修正一九二一年聯邦公道令條項ニ從ヒ分賦費消スル爲各州ニ對スル、國庫金至一九三八年六月卅日會計年度二千五百萬弗至一九三九年六月卅日會計年度二千五百萬弗ノ追加支出ヲ許出ス。但本條許可支出金ハ之ヲ農園市場道、地方郵便配達道、公立學校バス道路等ヲ含メル第二級道、若ハ支線ニ之ヲ適用ス。

第八條 高底交叉ノ分離、保護、現存踏切交叉ヲ建造物ノ再建、高底交叉除去ノ爲ノ公道再配置等ノ爲、増補修正一九二一年聯邦公道令條項ニ從ヒハワイ準州コロンビヤ地方ヲ含メル各州ニ配賦許可ノ會計年度直前ノ毎年一月一日以前ニ配當スベキ又其配當金ハ二分ノ一ハ最近十年毎ノ戶口調査ニヨル人口ニ比例シ、四分ノ一ハ農林大臣ニヨリ決定サレタル聯邦補助道路體系ノ哩類ニ比例シ、四分ノ一ハ全州商業委員會決定ノ鐵道哩數ニ應ジ、増補修

正該聯邦公道令ニ從ヒ費消スベキ又州ニ對スル該配賦資金ニ對シ州ハ應分ノ資金ヲ支出スル必要ナキ國庫金至一九三八年六月卅日會計年度分六千萬弗、至一九三九年六月卅日會計年度分五千萬弗ノ支出ヲ許可ス。但聯邦公道令若ハ其増補修正令條項實施ノ爲ノ支出金ハ、適當ナル道路ノ安定ノ支出資金ノ未費消殘額ハ上記金額ト共ニ大統領之ヲ指揮シ、之ヲ再分シ、本項目ノ爲、一九三七年六月三十日迄ニ之ヲ利用スルコトヲ得。本支出金ハ聯邦若ハ非聯邦計畫案ノ次ノ項目ニ利用スルコトヲ得、各項使用ノ金額ハ各項目叙述金額ヲ超過スベカラズ。即チ、
(イ) 公道、道路、街路四億千三百二十五萬弗。(ロ) 以下ナシ譯者)

一九三六年六月廿二日可決

○(第七四議會、公決議第一二九號)(サンフランシスコ灣エルヴァ、ヴェナ島ニ於ケル堤道、公道建設ノ議會ノ承諾ヲ、サンフランシスコ市及ヒ郡ニ與フル公決議)
(一) サンフランシスコ灣ウエルバ、ヴェナ島ト、該市

郡ガ該灣埋立地ニ建設スル公立飛行場間ノ堤道、(二)該堤道トサンフランシスコ、オークランド灣橫斷橋ニヨリ該島上ニ生ジタル州公道ヲ連結スルウエルバ、ヴェナ島上ノ道路、公道、(三)該市、郡ヲシテ該島、飛行場ニ適當ナル清水ヲ供給セシムル清水供給、貯水池、タンク、水管、導管、(四)以上堤道、道路、公道、貯水池、タンク、水管、導管ノ凡ユル有用、必要、合理的附屬物品、ノカリフォルニア、サンフランシスコ市及ビ郡ニヨル建設及ビ維持ヲ議會ハ承認ス。海軍大臣ハ凡ユル有用必要ニシテ合理的ナル其ノ附加物品ト共ニ、以上諸物ノ建設維持ニ對シテ許可ヲ與へ、又該市郡ニ對シ陸海軍及ビ該島ノ防禦ノ邪魔ヲ排除シ、又該島上ノ陸海軍隊ニ對スル不便ヲ排除スル爲海軍大臣ガ自己ノ裁量ニテ命ズル制限ヲ除キ其ノ通行權ノ爲ノ永久地上權ヲ與フコトヲ得。該堤道、連結道及ビ此處ニ許可スル公道ハ總テ永久全保護裝置ノ設立經營及ビ該支出ノ爲サルベキ公道箇所ノ鐵道交叉點若ハ跳橋ニ之ヲ利用スベシ。且該裝置ハ當時ノ合衆國道

路局ノ決定スル安全標準ニ從フベシ。

第九條 農林大臣ノ承認ヲ經テ、本令第一七八條ニヨル各州ヘノ配賦金ノ一・五パーセントヲ超過セザル金額ハ之ヲ聯邦補助公道體系及ビ其擴張若ハ第二級道即チ支線ニ對スル該州ノ將來ノ建設計畫ノ調査、設計、技術的、經濟的調査ニ之ヲ使用スルコトヲ得。

第十條 (イ)州、準州、若ハコロンビア地方ガガソリン及ビ其他ノ自動車燃料賣買ニ付徵收スベキ全課稅ハ同様ナル態様、範圍ニテ之ヲ郵便爲替、船舶店、船舶事務店、代理店、注油所、許可商人及合衆國軍隊等ニ在ル同様ナル官署ニヨリ販賣サルル時、合衆國ノ專用ナラザル限り、燃料ニ課稅スルコトヲ得ベシ。斯ク徵收サルル稅金ハ之ヲ指定地ノ所在スル州、準州、コロンビア地方ノ課稅當局ニ對シ之ヲ支拂フベシ。

(ロ) 以上貯藏ニ對スル賦課ニ付テハ官署ハ各月十五日以前ニ、州、準州、コロンビア地方ノ課稅當局ニ對シ、前月間ノ合衆國專用以外ノ販賣燃料全分量ヲ示ス書類ヲ

提出スベシ。

一九三六年六月十六日可決

○(第七四議會公第七三九號抽出)

本標題ハ之ヲ一九三六年緊急救濟支出金令トシテ引用スルコトヲ得。

合衆國及ビ準州及ビ領地内ノ有效ナル計畫ニヨリ救濟ヲ繼續シ又救濟工事ヲ爲ス爲大統領ノ裁量及ビ指揮下ニ、十億二千五百萬弗ヲ支出ス。一九三五年緊急救濟支出金令ニヨル、大統領決通行無料タルベシ。尙該堤道、道路、公道、貯水池、タンク、水管、導管及ビ其附屬物品ノ配置、設計ニハ先ヅ海軍大臣ノ承認ヲ經ベシ。尙又本決議承認ニ於ケル何物モ、該堤道トサンフランシスコオー克蘭ド灣

横斷橋ヲ連結スル道路、公道上ニ、該橋使用ノ通行料徴收ノ爲ノ通行料門及ビ家屋ノ建設、維持ヲ妨ゲルモノニ非ズ

一九三六年六月廿四日可決

○(第七四議會公第七六八號) (交通狀態ノ調査報告ヲ爲シ且修正立法ニ對スル意見ヲ提出スル權ヲ農林大臣ニ

與フル法令)

第一條 農林大臣ハ至一九三六年六月卅日會計年度及ビ至一九三七年六月卅日會計年度間ニ公道局ノ管理資金ノ必

要ナル部分但七萬五千弗ヲ越エザル部分ヲ、交通狀態ノ調査、研究ノ爲、及ビ其改良手段ノ爲、聯邦州コロンビヤ地方、自治體當局、其他ノ官署ト協力シテ費消スベシ該金額中五千弗ハ之ヲ本項ニヨリ許可及ビ指揮シタル工事ノ目的ニ必要ナル印刷ニ之ヲ費消スルコトヲ得。

第二條 農林大臣ハ次ノ九ヶ月以内ニ、上記ノ研究調査ノ結果及ビ全郡自動車統一交通法ノ地位ヲ議會ニ豫メ報告スベク又一九三七年六月三十日以前ニ該法ノ必要ナル統一促進スベキ立法ニ對スル暗示ヲ含メル意見ノ完全ナル報告ヲ爲スベキ權利義務ヲ有ス。

一九三六年六月廿三日可決

○(第七四議會公第八四八號) (ヴァージニア州及ビ北カロリナ州ニ於ケル青綠公園道ノ内務省ニヨル管理、維持ヲ規定スル法令)

シエナンドウ及びビグレート、スモーカー山脈國立公園間ノ豫定公園道ニ對スル通行權設置ノ爲、ヴァーヂニア州北カロリーナ州ニヨリ合衆國ニ讓渡サレタル土地及び地上權及び之ニ連關スル休養地ノ爲獲得シタル用地及び公道、橋梁、溝、掘削、附屬設備等ヲ含ム充分廣キ該公園道通行權地帶但内務省ノ現在調整若ハ將來調整ノ現在地ニ指定スル政府所有地ヲ通ズル最大限二百呎ヲ超過セザル地帯ハ、之ヲ所謂青綠公園道ト云ヒ、内務省國立公園制度委員會之ヲ維持、管理シ所謂國立公園制度設立令ナル一九一六年八月廿五日可決法令條項ニ從フベク、該條項ハ此處ニ、増補修正サレ該公園道ニ擴張、適用サルモノトス。但農林大臣ハ内務大臣ノ承諾ヲ得テ、公園道ト國有林及び其資源附近ノ保護、管理利用ニ必要ナル道路林道ヲ連絡スルコトヲ得。尙又、森林制度委員會及ビ國立公園制度委員會ハ實際的ナル限り各管轄土地上ニ方ケル各々ノ計畫、建設、若ハ建設許可スル休養地等ノ發達ニ對シ平等相互ニ努力シ、而シテ該土地ニ對シテハ相互ノ協約ニヨリ休養ノ目的ノ爲特別ナル

取扱ヲ與フベシ。

一九三六年六月三十日可決

○木村長門守の苦衷

三重縣桑名市内の一舊家で春の大掃除の際、珍らしい木村長門守の直筆の書簡が発見されたといふニュース―桑名市南寺町紙商三國屋こと内田久四郎氏方では去る十五日大掃除を行つた際、藏にあつた古い文箱を開けると中から時代めいた古手紙が現はれたので調べてみるとこれはしたり大阪城の名將、木村長門守が姉婿の猪飼佐馬助に宛てた手紙で、文面によると

元和元年四月（今から約三百年前）大阪夏の陣に出陣中の長門守が同じ戦ひで負傷し静養中の佐馬助に對して「この戦ひで味方は敗れ、いづれ天下は家康のものとなるだらう、自分も家康から人を介して色々の交渉を受けてゐるが、自分は斷じて二君に仕へる氣持はない、早く討死したいと思つてゐる、ついでには最後のかたみに自分の愛刀大波を送るから姉君に渡してほしい」といふ意味の名將の苦衷をしたゝめた書簡である。